

被爆＝「こころの被害」

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会の「被爆者運動から学び合う学習懇談会」シリーズ14回目は、精神科医の中澤正夫さんを迎えて開催します。前著『ヒバクシャの心の傷を追って』（岩波書店）から12年。その後の研究の進展をふまえ、「原爆がもたらしたこころの被害をPTSDに一元化することはできません。それより前に、被害を「からだ・こころ・せいかつ」に分けたこと自体が問題だと思っています。被爆自体が＝「心の被害」と思うからです」という中澤さん。当日は、ビデオやパワーポイントなど使わずに、じっくり討論したい、と言っておられます。ぜひ、多数お誘い合わせてご参加ください。

記

◆ 日 時 2019年10月26日（土）午後1：30～4：30

◆ 場 所 立教大学池袋キャンパス（7号館3階 7302教室）【裏面地図参照】
東京都豊島区西池袋3-34-1
JR各線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸の内線／有楽町線／副都心線
「池袋」駅西口から徒歩約7分

◆ 問題提起者：中澤 正夫氏（精神科医）

テーマ：被爆＝「こころの被害」

報告の概要：被爆者は、「一番つらいのは心の傷」と言う。何故か？と問うても答えてくれる被爆者はいません。答えてくれる人は、「あの日の自分の体験」を語ります。従って、こころの被害を抽出するには、被爆者が「ヒバクシャ」になって行くプロセスと無関係ではありません。

そうすると、石田忠先生のご論考（原爆体験の思想化）に行き当たるのです。また、学生さんたちが「ヒバクシャになる」といった心境ともつながって来るでしょう。「ヒバクシャ」にならなかった被爆者もたくさんいるのですから…。

「こころ」は「うら」です。「うら・こころ」は類型化を拒みます、そのくせ生きてゆくための共通の防衛力（忘却）を常備しています。こんなところまで語ってみたいと思っています。

◆ 定 員：50人 [※ 準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください]

◆ 参加費：1,000円（学生・院生：500円、高校生：無料）

◆ 申込み方法 裏面「参加申込書」またはe-mailでお申し込みください。

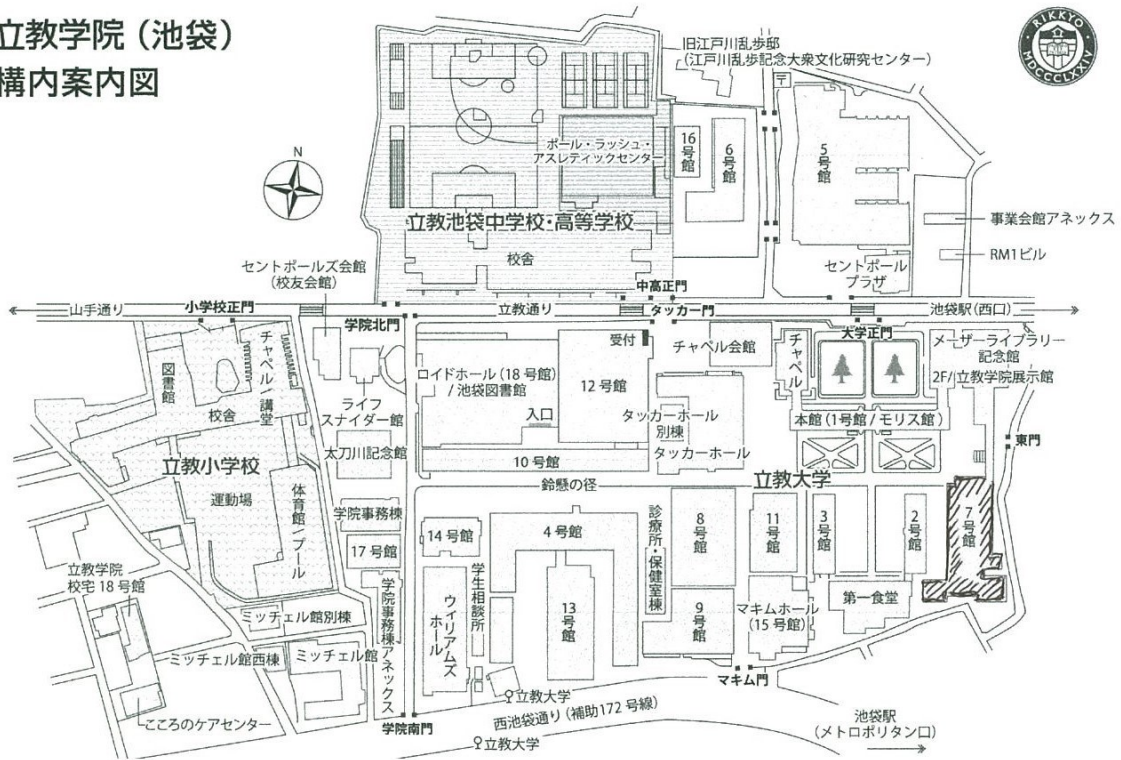
主 催：ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会／日本原水爆被害者団体協議会

〒102-0085 東京都千代田区六番町15 プラザエフ6F

TEL/FAX 03-5216-7757 E-mail: hironaga8689@gmail.com

【会場地図】立教大学池袋キャンパス

立教学院（池袋）
構内案内図



被爆者運動に学び合う学習懇談会とは…？

日本被団協を中心にした全国の被爆者たちは、自ら立ち上がって会をつくり、原爆がもたらした苦しみ・被害を明らかにして国に要求し世界に訴えつづけてきました。ふたたび被爆者をつくらないことを願う私たちがその足跡から学べることは少なくありません。

この学習会は、被爆 70 年の秋以降、原爆被害の究明や国家補償要求の発展などさまざまなテーマで 13 回にわたって開催してきました。被爆者運動から学びたい方はどなたでも参加できます。

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 宛

FAX : 03 - 5216 - 7757

e-mail : hironaga8689@gmail.com

参加申込書

10. 26 「被爆者運動から学ぶ 学習懇談会」(第 14 回)に参加します。

氏名	電話	
	e-mail	
聞きたい、学びたいと思うこと		